



生徒、保護者、地域の皆様へ

さっそう あらちゅう

颯爽荒中

青森市立荒川中学校

令和5年 3月24日

発行者 佐藤由孝 No.13

017-739-2144

荒川中学校 令和4年度 教育目標

地域に貢献するための力を身に付け、気働きのできる生徒

【3月14日（火）3年生39名が思い出多き校舎から巣立つ！】

令和4年度 卒業式 校長式辞

今年は、元来の青森らしい雪が多い年となりましたが、春の暖かな日差しとともに全てのものが芽生え、息づき、躍動する弥生3月となりました。39名の卒業生の皆さん、本日の卒業を心からお祝い申し上げます。

ただ今、皆さんに授与した卒業証書によって、義務教育9カ年の全課程を修了したことになります。おめでとうございます。皆さんの心の中には、この学舎を巣立つにあたり、3年間の「想い出」が浮かんではいるのではないのでしょうか。

思えば、3年前の、2月28日に、新型コロナウイルス感染症拡大を懸念した当時の首相の要請により、3月2日から、全国の小中等高等学校が一斉臨時休校となりました。そのようなことから、皆さんの入学式は、来賓の参加を制限し、規模を縮小しての開催を余儀なくされました。

その後もオンラインでの授業や分散登校、楽しみにしていた運動会の中止、給食での黙食、音楽の授業での合唱の禁止、中体連夏季大会の競技ごとの開催、文化の祭典である荒中祭も規模を大幅に縮小しての開催となり、通常では考えられない学校生活の始まりの一年となりました。

2年生では、皆さんが中心となり活躍するはずだった市中体連秋季大会が中止、荒中祭もオンラインでの開催となり、我慢を強いられました。

今年度は制限があるものの、市中体連夏季大会では、野球部と女子バレーボール部が準優勝となるなど、皆さんの底力を発揮してくれました。そして、一番の思い出にもなった、関東方面への修学旅行では、仲間と寝食を共にし、楽しむことができました。しかし、皆さんは、そのような窮屈な中学校生活の中でも、なりたい自分をめざし、毎日の授業はもちろん、行事や部活動において、自らを高め、困難を乗り越え、成長してきた3年間でした。

この荒川中学校で、皆さんは、多くの人と出会い「絆」を結んできました。良き仲間との絆、集団でしか味わえない達成感に包まれた荒中ソーランの演技の絆。地域の方々と出会い、多くの元気を与え、暖かなまなざしで応援していただいた絆。全ての経験が、自分らしく生き抜く上での礎になっています。

この我慢を強いられたコロナ禍の3年間を過ごし、私たちは当たり前前に生活できることに感謝するとともに、今の自分を精一杯生きることがいかに大切かということを考えさせられました。

このような時代に卒業を迎える皆さんに、次の3つのことを大切に生き抜いてほしいと思います。

一つには、「命」についてです。たった一つしかないかけがえない自分の命、たった一人しかない自分、たった一度しかない自分の人生、自分を真に輝かせることができるのは、世界中に自分一人しかいません。生きることのすばらしさ、生きていることの喜びをしっかりと味わって、自分らしくたくましく生き抜いてほしいのです。

二つには「志」、目標についてです。人間は誰でも、よりよくなりたい、自分の可能性を試したい、自分の能力を最大限に伸ばしたいという願いを持っています。これらの願いを実現させるためには、自ら目標を立て、強い「志」をもって自ら考え、努力することが大切です。とにかくできることから実践することです。大きな夢を持ち、その夢に向かって、強い「志」で日々精進してください。

また、三つには「今」を大切にすることです。過ぎ去ったことをくよくよしていても、どうにもなりません。あれこれ考えていても不安になるばかりです。大切なのは、「今」この時です。「今」、この時を真剣に一生懸命生きること、今できることを精一杯明るい気持ちで行うことが大切です。どうか一日一日を大切に、自分を磨いてほしいと願います。

「命」、「志」、「今」この3つを大切に、笑顔で希望をもって広い世界にはばたいてください。

今、こんなに凛々しく成長した皆さんは、未来の高田・荒川地区を担う人材として、更にたくましく、成長していくものと確信しています。

どうか、ここ荒川中学校で学んだことを糧に、自分の良さを生かし、なりたい自分の実現のために、自らが決めた道をしっかりと歩んで欲しいと思います。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業おめでとうございます。本校の校門をくぐった日からあっという間に3年が過ぎました。この3年間、本校の教育活動の全てにわたり、ご理解とご支援をいただきましたことに厚く御礼申し上げますとともに、卒業生39名の皆さんの健康と発展、そして、「夢や志」をもって、「颯爽」と力強く歩み出すことを祈念し、式辞とします。



【未来に向かってはばたく卒業生に聞きました！】

名簿	卒業生の名前	卒業を間近にし、今思う将来の夢
1		教員になってやりがいのある仕事をこなしたい。
2		本（書籍）に関わる仕事に就きたい。
3		誰かの役に立てる仕事をしたいので薬剤師になりたい。
4		高校野球で甲子園出場。消防士になりたい。
5		自分の志望する大学に進学して、人のためになる仕事に就きたい。
6		皆がかっこいいと思うようなアスレティックトレーナーになりたい。
7		高校に行ったら、バスケットボールを思いっきりやってみたい。
8		人とかかわる仕事に就きたい。
9		社会に貢献できる公務員になりたい。
10		自分が好きなことを片手間にでもやっていたい。
11		まだ夢が見つかっていないのでいろんな経験を通して見つけたい。
12		人を笑顔にできる医療関係の仕事に就きたい。
13		大学に行って勉強してみたい。
14		誰かを支えられるような仕事に就きたい。
15		人に勇気を与える理学療法士になりたい。
16		人を笑顔にできる仕事に就きたい。
17		生活に困らないくらいの収入がある仕事に就きたい。
18		美容関係の仕事に就いて、人を笑顔にしたい。
19		バレーボールのポジションで世界一のリベロになりたい。
20		高収入な仕事に就きたい。
21		人に親しまれるようなイラストレーターになりたい。
22		調理師になり、みんなに料理と笑顔を与えたい。
23		公務員か自動車に関連する仕事に就きたい。
24		バレーボールを頑張って、プロ選手になりたい。
25		有名になってみんなが憧れる存在になりたい。
26		バスケットボールを思いっきりやって、うまくなりたい。
27		大学に進学して、カスタマーエンジニアを目指したい。
28		人を笑顔にすることができる美容関係の仕事に就きたい。
29		公務員になってたくさんの人を助けたい。
30		分析化学技術者となり収入を安定させ、死ぬまでにドラえもんを作る。
31		人々の生活を豊かにし、よりよい社会に貢献できる公務員になりたい。
32		動物にかかわる仕事に就きたい。
33		音楽の先生になって、みんなに音楽の楽しさを教えたい。
34		看護師になって、みんなの笑顔を増やしたい。
35		介護福祉士になって、利用者のサポートをしたい。
36		人に喜ばれる自動車整備士になりたい。
37		青森明の星短期大学に進学し、幼稚園教諭になる。
38		人を安心させられるような福祉関係の仕事に就きたい。
39		人のために役立つ仕事に就きたい。

4月の予定

2日（日）	～7日（金）部活動なし	18日（火）	全国学力学習状況調査、部活動組織会
5日（水）	2、3年生出校日（午前） 新任式、入学式準備	19日（水）	職員会議、定時退下日
6日（木）	新入生一日入学、写真撮影（午後）	20日（木）	P T A 総会、教育活動後援会総会
7日（金）	始業式、入学式	21日（金）	第1回P T A総務委員会
10日（月）	全校ガイダンス、給食開始	24日（月）	全校集会
11日（火）	知能検査、交通安全教室	25日（火）	職員会議、定時退下日
12日（水）	職員会議、定時退下日	26日（水）	市中教研教科部会、市養教部会 3時間授業
13日（木）	尿検査①、身体測定、生徒会説明会 新入生部活動見学（～17日）	27日（木）	小・中連携事業総会、尿検査② 1年心電図検査
14日（金）	標準学力テスト	28日（金）	眼科検診、生徒総会リハーサル
17日（月）	授業開始、避難訓練（校外班確認） 前期代表委員会①	29日（土）	昭和の日

新型コロナウイルス感染症が終息の兆しが見え始めた令和4年度が終わろうとしています、令和5年度に向けてまだまだ安心はできないのが現状です。3年生は、卒業式、県立高校合格発表を終え、それぞれの進路が決定しました。新型コロナウイルス感染症に負けず、学校をリードした本当に頑張った3年生でした。新しいステージで思いっきり頑張ってほしいと思っています。次は新3年生を中心に、新2年生、新入生が新たな荒川中学校の伝統を築いていきます。令和5年度も荒川中学校へのご支援・ご協力を何卒よろしくお願い致します。